

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-110730(P2006-110730A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-297242(P2004-297242)

【国際特許分類】

**B 41 J 2/44 (2006.01)**

**B 41 J 2/45 (2006.01)**

**B 41 J 2/455 (2006.01)**

**G 03 F 7/20 (2006.01)**

**H 01 L 51/50 (2006.01)**

【F I】

B 41 J 3/21 L

G 03 F 7/20 5 1 1

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月18日(2007.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】露光ヘッド及びそれを用いた画像形成装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光素子と、

屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、

前記屈折率分布型ロッドレンズと1対1で対応する複数の色収差補正レンズと、

を有することを特徴とする露光ヘッド。

【請求項2】

前記色収差補正レンズは、基板上にライン状に配されることを特徴とする請求項1に記載の露光ヘッド。

【請求項3】

前記発光素子は、有機EL発光素子であることを特徴とする請求項1又は2に記載の露光ヘッド。

【請求項4】

感光体と、

帯電手段と、

発光素子と、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、前記屈折率分布型ロッドレンズと1対1で対応する複数の色収差補正レンズと、を有する露光ヘッドと、

現像装置と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

**【請求項 5】**

前記発光素子を直線状に複数配して構成したラインを、前記感光体の副走査方向に複数列配することを特徴とする請求項 4 に記載の画像形成装置。

**【請求項 6】**

前記ロッドレンズアレイは、前記感光体の副走査方向に配された前記複数列ラインに対して 1 つ配することを特徴とする請求項 5 に記載の画像形成装置。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0001】**

本発明は、有機 EL 発光素子アレイからの発光を結像光学系により感光体上に露光する露光ヘッドとそれを用いた画像形成装置に関する。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0006】**

発明は、前記従来技術のもつ課題を解決した、簡単な構成で、有機 EL 発光素子の波長分布により生じるスポット径の増大化を防止し、画質の良い有機 EL 発光素子ラインヘッドからなる露光ヘッドとそれを用いた画像形成装置を提供することを目的とする。

**【手続補正 5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0007】**

前記課題を解決するために、請求項 1 に記載の露光ヘッドは、発光素子と、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、前記屈折率分布型ロッドレンズと 1 対 1 で対応する複数の色収差補正レンズと、を有することを特徴とし、請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 の露光ヘッドにおいて、前記色収差補正レンズは、基板上にライン状に配されることを特徴とし、請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 又は 2 の露光ヘッドにおいて、前記発光素子は、有機 EL 発光素子であることを特徴とし、請求項 4 に記載の発明は、画像形成装置において、感光体と、帯電手段と、発光素子と、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、前記屈折率分布型ロッドレンズと 1 対 1 で対応する複数の色収差補正レンズと、を有する露光ヘッドと、現像装置と、を有することを特徴とし、請求項 5 に記載の発明は、請求項 4 に記載の画像形成装置において、前記発光素子を直線状に複数配して構成したラインを、前記感光体の副走査方向に複数列配することを特徴とし、請求項 6 に記載の発明は、請求項 5 に記載の画像形成装置において、前記ロッドレンズアレイは、前記感光体の副走査方向に配された前記複数列ラインに対して 1 つ配することを特徴とする。

**【手続補正 6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正7】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正8】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0021】**

【図1】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図2】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図3】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図4】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図5】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図6】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図7】本発明の画像形成装置の実施形態を示す図である。

【図8】従来技術を示す図である。

【図9】従来技術を示す図である。